

志和堀まちづくり計画



志和堀小学校区住民自治協議会

2012年2月作成

目次

はじめに.....	1
1. 『志和堀小学校区住民自治協議会』設立までの道のり	2
2. まちづくりアンケートにみる志和堀小学校区の課題.....	3
3. 志和堀小学校区の課題解決に向けたワークショップ.....	4
4. 志和堀まちづくりの将来目標とテーマ設定	6
5. まちづくり計画.....	7
【 テーマ別行動計画・事業スケジュール 】	
6. 組織体制	13
7. 役員名簿	14

はじめに

わたしたちが住む志和町の志和堀小学校区には、約 500 世帯、約 1200 人の人々が暮らしています。

自然探索のできる素晴らしい環境や良好な農地に恵まれ、地域の観光資源としては、大正時代からある時報塔や酒蔵跡、イボや母乳に効くことで有名なお堂や神社があり、茅葺き屋根の古民家も点在しています。

また、「ホタルまつり」「サルビアまつり」「いちょうまつり」と3つの大きな祭りがあり、「ホタルまつり」は東広島市を代表する祭りの一つになっています。

一方で、少子高齢化が進むなかで、事故がなく災害に耐える安全・安心なまちづくり、耕作放棄地対策等、さまざまな課題も出てきています。また、古くから守られてきた美しい自然や、歴史や文化、産業を次世代の子どもたちに残すこと、教えていくことは、志和堀に住む私たちの大きな責務であると感じています。

志和堀小学校区住民自治協議会では、まちづくりアンケートや4回実施したワークショップ等をもとに、志和堀が抱える様々な問題や課題の掘り起こしを行い、子どもたちが家族（子や孫）を連れて帰ってき

てくれるような「次の世代に希望をもてるまち」を創るために自分たちができる様々な活動を応援する「まちづくり計画」を作りました。ここでは目標の実現に向けた実施活動について明記しています。

ただし、今回策定しました「志和堀まちづくり計画」がすべてであるとは考えていません。今後もみなさんの意見を聞きながら、いっしょに考え、活動していきたいと考えます。

みなさん自らが実践活動を行うために、このまちづくり計画を活用しながら、「自分たちでもできること。」「自分たちがやらなければならないこと。」を実践して行きましょう。

1. 『志和堀小学校区住民自治協議会』設立までの道のり

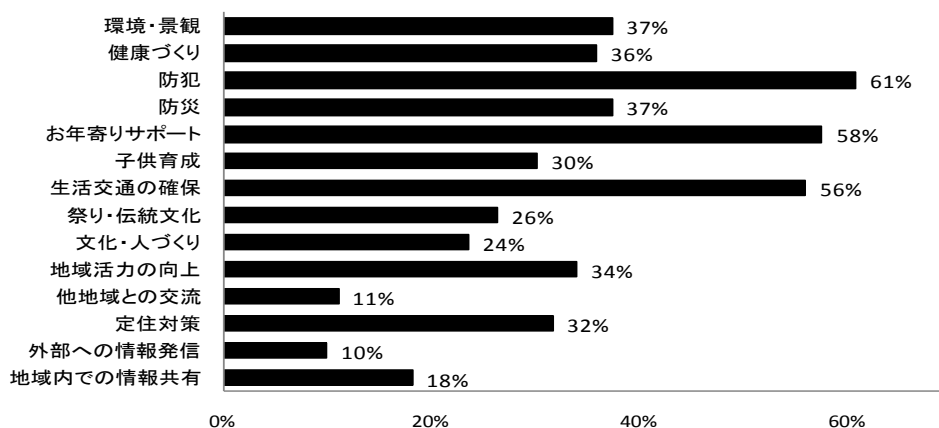


2. まちづくりアンケートにみる志和堀小学校区の課題

平成22年10月中旬から下旬にかけて、志和堀では「まちづくりアンケート」を行いました。この調査は、1世帯あたり2部ずつ用紙を配布し、今後のまちづくりに対する志和堀住民の幅広いご意見を集約・分析し、志和堀まちづくり計画策定の基礎資料に資することを目的として実施したものです。

そこから、元気なまちづくりにしたいというご意見とともに、外灯がすくない、交通が不便、災害時の連絡網が必要、若者がなかなか定着しないといった課題が見えてきました。

また、今後力を入れて取り組んでいったほうがよいと思われる活動については、「防犯」が最も関心が高く、次いで「お年寄りサポート」「生活交通の確保」と続いています。



活動テーマ (関心の高い順位)	活動項目 (上位1~2項目)
防犯	外灯の増設(47%)、子供の見守り(29%)
お年寄りサポート	巡回バスの運行(44%)、独居老人の見守り・訪問(36%)
生活交通の確保	コミュニティバスの運行(38%)、交通弱者の外出支援(36%)
環境・景観	鳥獣害防止(33%)、森林保全(26%)
防災	災害時連絡網の作成(44%)、防災マップ(34%)
健康づくり	健康教室(41%)、ウォーキング(31%)
地域活力の向上	特産品の開発(34%)
定住対策	空き家の活用(52%)
子供の育成	子育て支援(36%)
祭り・伝統文化	次世代への文化継承(35%)、秋祭りや盆踊りの充実(33%)
文化・人づくり	地域人材育成(34%)
地域内での情報共有	地域広報誌の充実(38%)、回覧板の有効活用(35%)
他地域との交流	都市と農村の交流(25%)、志和町内の他校区との交流(24%)
外部への情報発信	特産品や観光地の宣伝(44%)

3. 志和堀小学校区の課題解決に向けたワークショップ

志和堀地域センターに志和堀の住民が集まり、全4回のワークショップ（全員参加型の話し合い）を行いました。

■第1回ワークショップ(平成22年12月4日)

部会ごとに集まり、自己紹介をしたり、部会の方向性について話し合いました。また、各団体の活動スケジュールを表にまとめました。

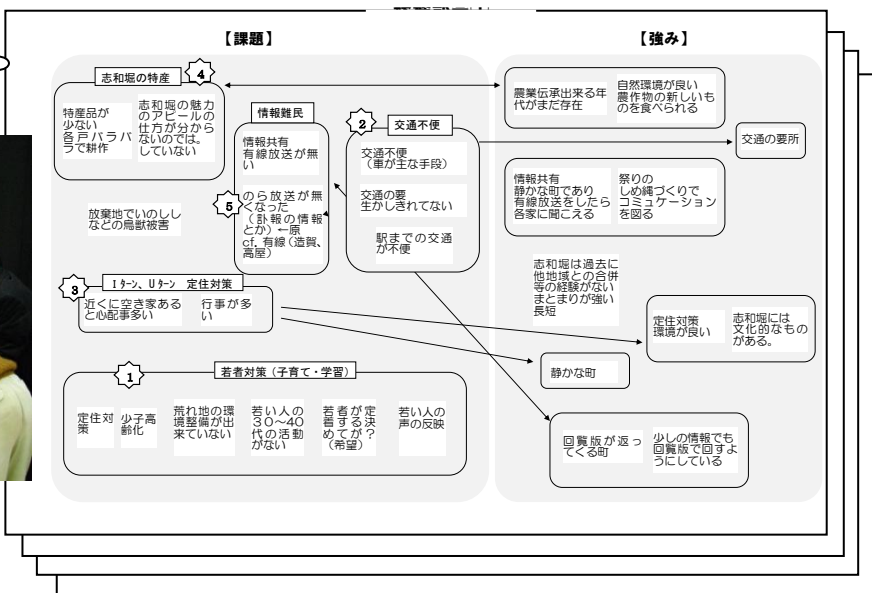
■第2回のワークショップ(平成22年12月18日)

各部会で、地域のかかえる課題と良いところ（強み）について、意見を交換して、発表を行いました。

祭りなど次世代への引き継ぎが出来ていない。

このような付箋に、普段から思っている事、思いついた事を書いてもらい、自分の意見を発表して、模造紙に貼ってもらいました。

地域のかかえる課題と強みについてのワークシ

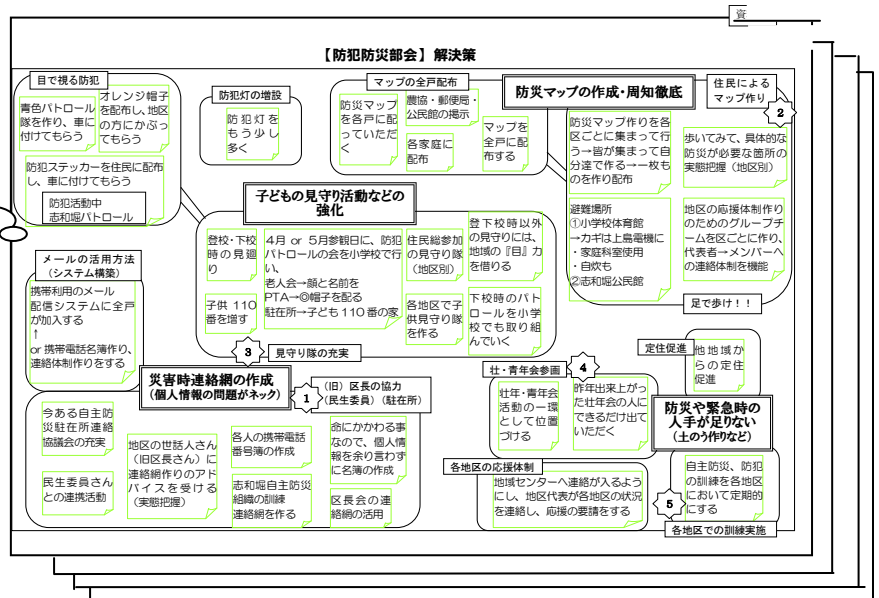


話し合いの終わりに、各グループで話し合った事を、皆の前で発表し、意見を共有しました。

■第3回ワークショップ(平成23年1月22日)

第2回のワークショップで出された地域の課題に対して、解決策を考えて、皆で話し合いました。

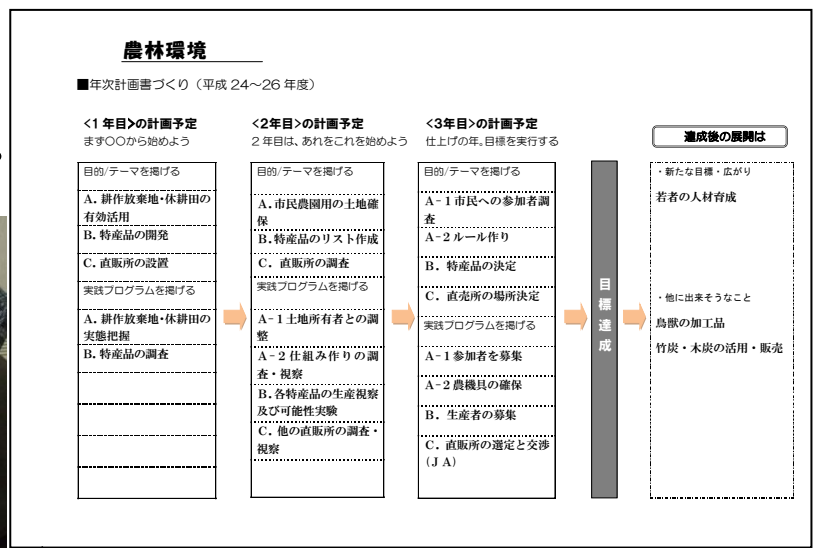
地域の課題にどのように取り組んでいくか・解決策について



■第4回ワークショップ(平成23年2月11日)

第3回の課題の解決策に対して、取り組むべき活動の優先順位を付け、活動を今後どのように進めていくかについて、3カ年の計画を作りました。

各部会の具体的な行動を、活動計画シートに記入



4. 志和堀まちづくりの基本目標

【 将来像 】

「次の世代が希望をもてるようなまち」

【 テーマ 】

- ① 若者が帰ってくるようなまちづくり
- ② 安心・安全なまちづくり
- ③ みんなが住みよいまちづくり
- ④ きれいなまちづくり



※ 将来像「次の世代が希望をもてるようなまち」の実現に向けて4つのテーマに基づいた活動の実施を目指します。実施にあたっては、協働タイプに応じて、また、優先度を設けて、取り組んでいきます。

【活動計画についての表示のみかた】

- ①活動目標
- ②協働タイプ
自主・・・住民自治協議会が実施するもの
協働・・・行政、または他の組織との協働により実施するもの
- ③活動内容（なにを どのように）
<優先度>
A・・・住民の意識が非常に高く、最優先で実施すべき事業
B・・・住民の意識は比較的高く、優先して実施すべき事業
C・・・住民の意識は少ないが、実施が必要な事業
- ④実施主体（だれが）
- ⑤財源
自己財源・・・会費等の自己財源で実施するもの
交付金・・・市の交付金で実施するもの
その他・・・

5. まちづくり計画

① 若者が帰ってくるようなまちづくり

若い世代の定住対策

① 上下水道の整備

②協働

③震災等の影響もあり、水の確保等の住民の心配事を軽減するため、市に方針策定を促し、有事の際に万全の体制で対応できるように、整備体制を構築する。

<A>

④総務部会

⑤交付金

① 空き家の名簿作成

②協働

③震災や福島原発等の影響から、住宅確保のための問い合わせに対応するため、空き家状況を把握し、名簿作成に取り組む。

<A>

④総務部会

⑤交付金

① 働き場所の確保

②自主

③働き場所が少ないため、企業・ファーム等の誘致を図りながら、農業を活かした働き場の確保を目指し、当面は勉強しながら、知識を習得する。

<C>

④総務部会

⑤交付金

① 農業で若者を呼び込む

②自主

③えびす（農業事業）と連携し、農業の魅力の伝承することで、農業を活かしたまちづくりの意識を高め、若者定住対策のための啓発を図る。

<C>

④総務部会

⑤交付金

① 指定区域の緩和

②自主

③建物（住宅）建設できる環境をつくるため、先進地等の事例等をもとに知識を身につけ、農業振興地域の指定区域の緩和を目指す。

<C>

④総務部会

⑤交付金

※ H27.12 市教委小中一貫化構想発表に伴う対応等開始

① 公園の設置

- ②自主・協働
- ③志和堀には公園がないため、行政・地域との協働により公園設置ができる方法を検討する。

- ④福祉文教部会
- ⑤交付金

子どもの遊戯施設不足
対策



子どもたちの安心・安全、健やかな心の育成

① 児童館の設置

- ②協働
- ③放課後の遊びや勉強の場について、4年生以上を対象とした事業施設がないため、行政にも訴えるとともに、地域で出来る、場の提供方法等を検討していく。
<C>
- ④福祉文教部会
- ⑤交付金

① 特産物の開発・販売

- ②自主
- ③志和堀ならではの特産品が少ないため、志和堀の土地を活かした特産物の開発を目指し、他地域の事業展開等を学び、開発・販売の展開方法を模索していく。
<C>
- ④農林環境部会
- ⑤交付金

特産物の
開発・販売

② 安心・安全なまちづくり

① 災害マップ、災害時連絡網の作成

②自主

③個人情報等の課題はあるが、被災の未然防止、減災対策のため、自主防災活動と並行して作成に取り組んでいく。

<A>

④防犯防災部会

⑤交付金

防災マップ、災害時連絡網の作成

災害時の避難場所の確保

① 各区での避難場所の確保

②自主

③土地を熟知した住民主体により、14区がそれぞれの区内で避難場所を設置する。地域全体の避難場所については、地域の地形・実情等を踏まえて検討していく。

<A>

④防犯防災部会

⑤交付金

① 防災訓練等の実施

②自主

③防災に関する知識を深め、「自らの身の安全を自ら守る」という意識を高め、各区での防災訓練等の実施を目指し、被災の未然防止、減災対策のための啓発を図る。

<A>

④防犯防災部会

⑤交付金

防災や緊急時の人手不足対策

子ども見守り活動などの強化

① 志和堀安全パトロール等の活動を継続させる

②自主

③既存の活動を継続させる。蛍光反射タスキを全戸配布し、夜間の着用を促す。

<A>

④防犯防災部会

⑤交付金



③ みんなが住みよいまちづくり

① FM放送の活用

- ②協働
- ③有効な広報手段であるので、志和堀の宣伝等を盛り込んだ放送等を検討する。

<A>

- ④総務部会
- ⑤交付金

情報提供対策

① 広報紙の発行

- ②協働
- ③地域内での情報共有が大事であるため、防災や子育て等、さまざまな情報を広報紙に盛り込んで発行する。

<A>

- ④総務部会
- ⑤交付金

① コミュニティバスの運行

- ②協働
- ③バスターミナルの件と絡めて、行政・地域との協働により、コミュニティバス等の公共交通システム導入を研究していく。

<C>

- ④総務部会
- ⑤交付金

高齢者の生活交通対策

① サロンの設置

- ②自主
- ③地域間でサロン設置の情報提供をし合う体制ができているため、今後は地域全体で情報を共有し、取り組める体制を構築する。

<A>

- ④福祉文教部会
- ⑤交付金

お年寄りの娯楽と憩いの場づくり

① まちに直売所または野菜市を開設

- ②協働
- ③他地域の事業展開等を勉強し、地域で作った野菜などをまちに売りに行く取り組みを進めていく。

<C>

- ④農林環境部会
- ⑤交付金

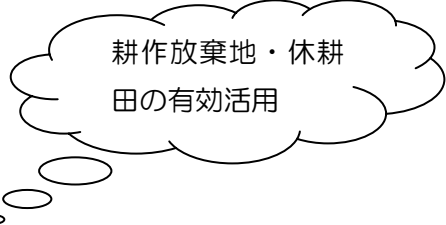
直売所や野菜市の開設



④ きれいなまちづくり

① 都市の人が農業に関わる取り組み

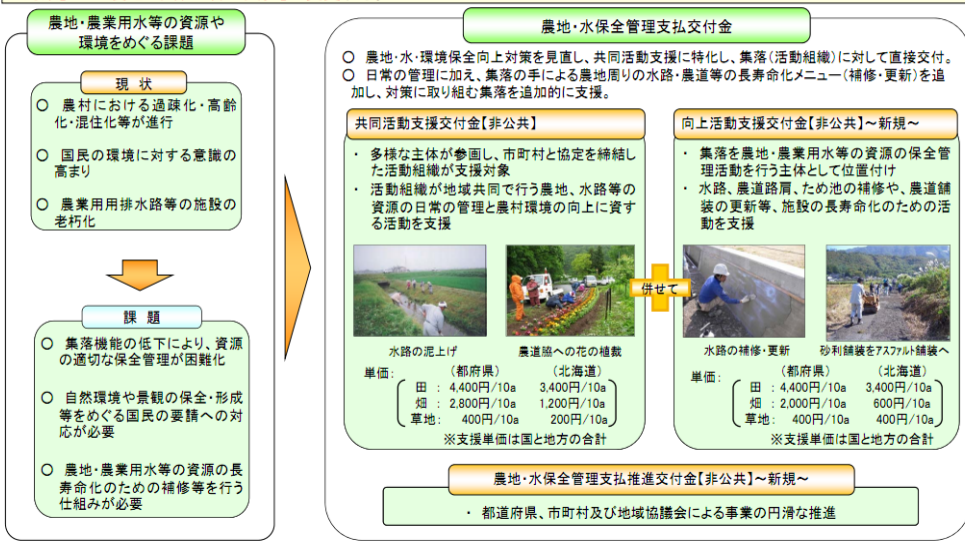
- ②自主
- ③市民農園、農機具貸出などの取組みを研究し、将来的な実施を行う。駐車場やトイレの確保策等、長期計画として検討していく
- <C>
- ④農林環境部会
- ⑤交付金



農地・水環境保全向上対策事業

地域共同による農地・農業用水等の基礎的な保全管理活動に加え、老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等を行う取組みに対して支援する「農地・水保全管理支払交付金」に係る対策を実施します。

- これまでの農地・農業用水等の資源の日常の保全管理活動に加え、**集落が行う農地周りの水路・農道等の補修・更新**などの活動に対して新たに支援することにより、**長寿命化対策の強化**を図る。
- **環境保全型農業に対する支援を切り離して、集落共同での資源保全の取組に特化し、名称を「農地・水・環境保全向上対策」から「農地・水保全管理支払」に変更する。**



(図は農林水産省資料より)

【 テーマ別行動計画・事業スケジュール 】

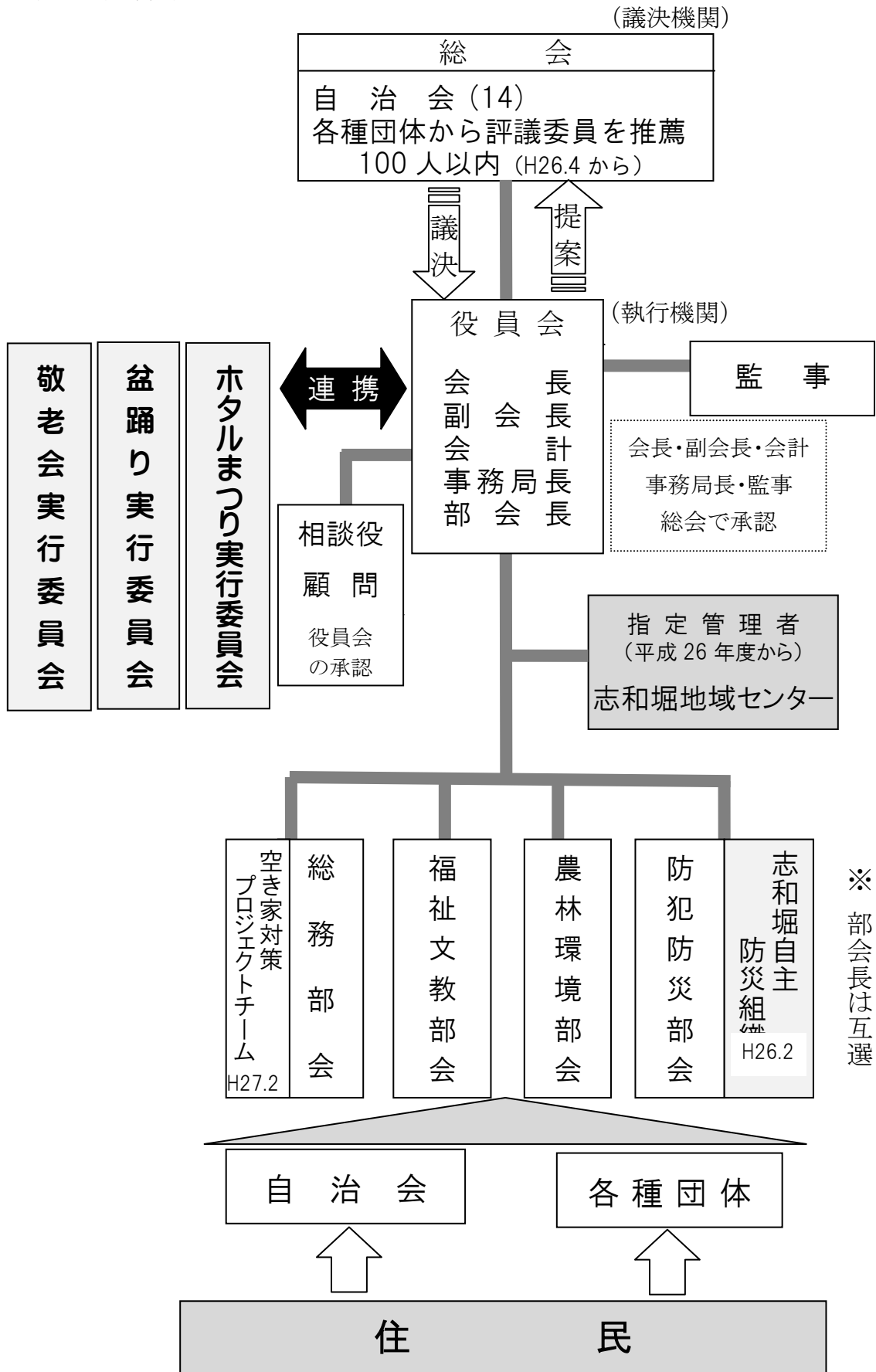
調査 ○→ 準備 ◎→ 実施 ●→

テーマ	活動・事業名	活動・事業スケジュール（年度）					
		H24	H25	H26	H27	H28	H29～
若者が帰ってくるようなまち	上下水道の整備 空き家の名簿作成	◎				●	
	働き場所の確保 農業で若者を呼び込む 指定区域の緩和	◎		●	空家を活用し若者が就農		
	公園の設置	○					
	児童館の設置	○					
	特産物の開発・販売	◎					
安心・安全なまち	災害マップ、 災害時連絡網の作成	●					
	各区で避難場所を設置	◎					
	各区で防災訓練等の実施	●					
	志和堀安全パトロール等の活動を継続させる	●					
みんなが住みよいまち	広報誌の発行 FM放送の活用	◎	広報紙は実施（年4回発行）				
	サロンの設置	●	8地区で実施				
	コミュニティバスの運行	○					
	町に直売所/野菜市を開設	○					
きれいなまち	都市の人が農業に関わる取り組みを検討	○					
	多面的機能整備事業(名称変更) (農地・水 保全管理対策事業)	●					

※ H27.12 市教委小中一貫化構想発表に伴う対応等開始

※○,◎の実施期間は個別に検討する

6. 組織体制



7. 役員名簿

平成 29 年 5 月現在

役職名	氏名	備考
会 長	平賀 興三郎	
副 会 長	吉 田 弘 桂 常 昭 伊 関 敏 雄 湯 浅 義 裕	
会 計	和田本 和子	
監 事	築 田 一 雄	
	植 木 秀 行	
事務局長	湯 川 信 夫	
総務部会長	野 田 繁	
福祉文教部会長	沖 本 洋 介	兼務
農林環境部会長	中 田 正 勝	
防犯防災部会長	松 浦 史 郎	
相 談 役	上 島 寿 彦	ホテル祭実行委員会
	藤 岡 茂 樹	盆踊り実行委員会 平成 29 年 4 月 1 日就任
	沖 本 洋 介	敬老会実行委員会
顧 問	牧 尾 良 二	東 広 島 市 議 会 議 員
	谷 晴 美	東 広 島 市 議 会 議 員
	上 川 昭 和	直前会長
東 広 島 市 役 所 志 和 堀 担 当 職 員	森 行 裕 章	班長
	平 井 春 己	副班長





皆で支えあう
ホタルの里 志和堀

志和堀小学校区住民自治協議会

〒739-0269

東広島市志和町志和堀 857 番地

志和堀地域センター内

☎・Fax : 082-433-2891